

理研シンポジウム

第 21 回 分析・解析技術と化学の最先端

開催日時： 令和 5 年 12 月 12 日（火） 12：55－17：30 （意見交換会 17：50－20：00）

場 所：国立研究開発法人理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール

主 催：国立研究開発法人理化学研究所（環境資源科学研究センター 分子構造解析ユニット）

Frontiers on Chemistry and Analytical Technology (XXI)

Tuesday Dec. 12, 2023 12:55-17:30

Suzuki Umetaro Hall, RIKEN

Contact: RIKEN CSRS, Molecular Structure Characterization Unit (Tel. 048-467-9361)

新しい重要な機能を持つ化合物の発見と創成が化学の進展のドライビングフォースであるが、より高度な新しい分析技術、解析技術の開発と応用も化学の最先端には必須である。本シンポジウムでは、最新の機器分析技術、化学と関連分野のトピックスとそこで活用されている分析・解析手法について、開発に携る研究者とそれらを効率的に利用している研究者に講演していただき、活発な討論を行う予定である。

12：55－13：00

趣旨説明

越野 広雪（理研 CSRS）

13：00－13：40

触媒設計による選択的・効率的な合成反応の開発

イリエシュ ラウレアン（理研 CSRS）

13：40－14：30

NMR 計算を利用した新規天然物の構造解析

深谷 圭介（富山県大工）

14：30－15：10

絡み合った構造を持つ分子の合成と解析

徳永 雄次（福井大・工）

休憩（15：10－15：30）

15：30－16：10

MS/MS による天然物構造解析 ―失敗あるいは失望の経験から学んだこと―

中村 健道 (理研 CSRS)

16:10-16:50

LC-ESI-MS/MS で覗いた動物の代謝進化

本郷 やよい (沖縄科学技術大学院大学)

16:50-17:30

PET イメージングを推進する化学研究

丹羽 節 (九大院薬)

17:50- 意見交換会 (第一食堂)

[問い合わせ先]

国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター 技術基盤部門 分子構造解析ユニット
越野広雪

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

Tel.: 048-467-9361 ; Fax.: 048-462-1640

e-mail: koshino@riken.jp

[参加申し込み]

氏名, 所属, 住所, 電話番号, 電子メールアドレス, 出席人数, 意見交換会参加の有無 (有料 4,000 円、学生 2,000 円) 等を明記の上, e-mail にてお申し込み下さい。

[個人情報に関する取扱について]

ご記入いただいた個人情報は, 参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。
